

平成28年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会議事録

1 日時：平成28年7月12日（火） 午前9時15分～午前11時29分

2 場所：千葉市役所議事堂棟3階 「第4委員会室」

3 出席者：

(1) 委員

石井 慎一委員（部会長）、善積 康夫委員（副部会長）、谷藤 千香委員、
観音寺 拓也委員、蒔田 鐵夫委員

(2) 事務局

(都市局)

服部都市局長

(公園緑地部)

山下部長

(都市総務課)

増田都市局参事兼課長、佐藤課長補佐、西森主査、中野主任主事

(公園管理課)

佐藤課長、小川課長補佐、永田主査、長瀬主任主事、林主事

4 議題：

(1) 千葉マリスタジアム（QVCマリフィールド）の年度評価について

(2) 蘇我スポーツ公園スポーツ施設〔蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）、多目的広場（フクダ電子スクエア）、庭球場（フクダ電子ヒルスコート）、第1多目的グラウンド（フクダ電子フィールド）、第2多目的グラウンド（北）（フクダ電子グラウンド）〕

5 議事の概要：

平成27年度指定管理者評価シート、平成27年度事業計画書、平成27年度事業報告書及び指定管理者財務諸表をもとに、都市局指定管理者選定評価委員会による評価を受け、当該指定管理者による施設管理運営のサービス水準の向上、業務効率化の方策、改善を要する点及び当該指定管理者の倒産、撤退等のリスクの把握について、都市局指定管理者選定評価委員会から意見を聴取した。

(1) 千葉マリスタジアム（QVCマリフィールド）の年度評価について

ア 指定管理者 株式会社千葉ロッテマリーンズ

イ 部会の意見

(ア) 管理運営は適切に行われていると認められる。

(イ) 電気設備や衛生設備の不具合が多く発生しているため、今後は設備の定期点検や清掃にも力を入れていくこと。

(ウ) アンケートについては、収集方法や内容、対象者などについて市とも連携しながらより一層の工夫をお願いしたい。

(2) 蘇我スポーツ公園スポーツ施設〔蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）、多目的広場（フクダ電子スクエア）、庭球場（フクダ電子ヒルスコート）、第1多目的グラウンド

(フクダ電子フィールド)、第2多目的グラウンド(北)(フクダ電子グラウンド)の年度評価について

ア 指定管理者 MMT 共同事業体

イ 部会の意見

(ア) 飲食売店のメニューについて、アンケート結果にも「千葉らしさ」を求める声があることから、検討をお願いしたい。

(イ) 当初の提案や計画した内容について、まだ実施できていないものもあることから、次年度以降は積極的に具体化を進めていくこと。

6 会議経過：

○佐藤都市総務課長補佐 それでは、定刻となりましたので、只今より、平成28年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を開催させていただきます。

本日の司会を務めさせていただきます、都市総務課課長補佐の佐藤と申します。よろしくお願ひいたします。

本日の会議でございますが、委員全ての方にご出席していただいております。千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項の規定により、本会議は成立しておりますことをご報告いたします。

開会に当たりまして、服部都市局長からご挨拶申し上げます。

○服部都市局長 都市局長を拝命いたしました服部と申します。よろしくお願ひをいたします。

委員の皆様には、大変お忙しいところご出席をいただきありがとうございます。

また、本市の都市行政を初め市政全般にわたりまして、いろいろご支援、ご協力を賜り改めてお礼を申し上げたいと思います。

都市局では、千葉市蘇我球技場など39の有料施設に関しまして、市民サービスの向上と管理経費の節減を図るために、指定管理者制度を導入しているところであります。今日開催いたしますスポーツ部会におきましては、蘇我スポーツ公園のスポーツ施設と千葉マリスタジアムの年度評価を実施し、管理運営のより一層の改善につなげていきたいと考えております。

特に、蘇我スポーツ公園につきましては、新たな指定管理者となって最初の年度評価でございます。忌憚のないご意見をいただければと考えております。

また、この蘇我スポーツ公園につきましては、来年4月に、第2多目的グラウンドの残り4面が新たにオープンする予定になってございます。こちらの指定管理者の選定にも今年度は取り組むこととしておりますので、皆様方には引き続きご協力をお願いをいたしたいと思ひます。

千葉マリスタジアムにつきましては、来場者からの要望も多く、この部会でも話題にのぼっていましたがスコアボードとビジョンの改修を行ったことから、多くの方々にお楽しみいただけているものと考えております。

これらの施設、こういう指定管理者制度を入れて、より一層の市民サービスの向上を図っていきたくて考えておりますので、本日も活発なご議論をいただければということをお願いいたしまして、簡単ではございますが冒頭の挨拶とさせていただきます。

○佐藤都市総務課長補佐 ありがとうございます。

なお、服部都市局長につきましては、本日、所用がございますので、これをもちまして退席とさせていただきます。

○服部都市局長 よろしくお願ひいたします。

(都市局長退席)

- 佐藤都市総務課長補佐 それでは、議事に入る前に、会議の公開及び議事録の作成についてご説明いたします。お手元の資料3「千葉市都市局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について」をご覧ください。

本日の会議は、「1 会議の公開の取扱い」の(1)のとおり、公開としております。

また、議事録につきましては、「2 議事録の確定」の(1)及び「3 部会の会議への準用」のとおり、事務局が作成した案に対する部会長の承認により確定することとなっております。

本日、傍聴者につきましては、無しとなっております。

それでは、これより議事に入らせていただきます。石井部会長、よろしく願いいたします。

- 石井部会長 おはようございます。石井です。それでは、私が議事進行をさせていただきます。会議を円滑に進めて参りたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

まず初めに、議題(1)「千葉マリスタジアム(QVCマリフィールド)の年度評価について」に入ります。

初めに、資料6-1「平成27年度指定管理者評価シート」、「1 基本情報」から「4 指定管理者による自己評価」について、事務局よりご報告をお願いいたします。

- 佐藤公園管理課長 公園管理課の佐藤でございます。よろしくお願いいたします。それでは、座って説明させていただきます。

まず、「1 基本情報」です。施設名は、千葉マリスタジアム、命名権を導入しております。QVCマリフィールドという名称を使っております。指定管理者、株式会社千葉ロッテマリーンズ。指定期間、平成23年4月1日から平成28年3月31日までとなっております。所管課は公園管理課です。

「2 管理運営の実績」です。(1)主な実施事業、①指定管理事業、こちらは施設管理等一般的な業務でございます。②自主事業、こちらは飲食物販、施設見学ツアー、それから広告看板となっております。飲食物販は、売店等、球場内の飲食物販業務を委託しております。施設見学ツアーのほうは、専属のツアーガイドによる球場内施設見学、これは14回、519名ほど行っております。その他に、ちば夢チャレンジパスポート・プロジェクトの一環として県内の小学生を対象としたツアーを実施しております。こちらは10回、合計約4,280名となっております。広告看板につきましては、球場内に常設看板を設置しております。

(2)の利用状況です。①利用者数、こちらは平成27年度は1,799,703名となっております。稼働率は96.4%、これは対前年度増減としましては-1.0%となっております。

(3)収支状況、まず収入実績です。指定管理委託料、これは支払っておりません。利用料金、こちらは351,556,000円、計画比90.4%。自主事業2,435,576,000円、こちらは計画比109.4%、合計で2,787,132,000円、計画比106.6%となっております。

続きまして、支出実績です。人件費、決算額37,498,000円、これは計画比125.0%、事務費377,000円、こちらは計画比163.9%、管理費613,533,000円、計画比93.5%、自主事業1,468,996,000円、計画比104.3%、合計で2,120,404,000円、計画比101.2%となっております。

収支の実績としましては、決算額666,728,000円、対計画額としまして146,839,000円の増となっております。

2ページをご覧ください。

(4) 指定管理者が行った処分の件数、(5) 市への不服申立て、(6) 情報公開の状況としましては、ご覧のとおりとなっております。

続きまして、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」です。

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果としまして、まずアンケート調査の実施内容ですが、こちらは、大きくは2種類、利用者アンケートと、来場者アンケート4回となっております。こちらの利用者アンケートのほうは、平成27年4月から平成28年3月の1年間にかけて行っております。利用者へ利用の都度アンケート用紙を配布して収集を行っております。回答者数は216名となっております。来場者アンケートのほうは、いわゆる野球を見に来たりするお客様に対してアンケートを行ったもので、調査方法としましては、WEBアンケートということで、お客様が家に帰られたりした中でパソコン等で記入する形となっております。4回行う中、各回テーマをそれぞれ決めて質問項目を設定しております。

第1回目は、平成27年9月29日から10月9日、回答者数は3,636件ということで、性別等、一般的な項目のほかに、球場外周辺トイレについての認知度、希望場所等を、それから内野席側のゲートに入場する際の階段にスロープの設置を希望するかどうか、そういったことを聞いております。

第2回目は、平成27年11月28日から12月10日ということで、これは回答者数2,228件です。質問項目の中で、球場のバリアフリーについて、これは印象、強化箇所等、それから託児サービスについて、こういったものを聞いております。

続きまして、アンケートの3回目、こちらは平成28年2月10日から2月21日にかけて行っております。回答者数は1,404件、こちらは携帯電話・スマートフォンについて、球場内での利用時間、使用用途等を聞いております。

第4回のアンケートでは、平成28年3月23日から3月31日にかけて行っております。回答者数は724件、こちらはビジョンの改修について、それからバックネット改修について、それぞれの感想を伺っております。

次のページをご覧ください。調査の結果です。

まず、利用者アンケートですが、グラウンドコンディションに関しては、およそ9割から高評価を得ております。それから利用時間、利用料金、利用回数についても、概ね好評となっております。

来場者アンケートの1回目、これはテーマ的には「球場外周辺トイレについて」、これは周辺トイレがあるのですが、それを「知っている」、「知らない」に関しては、ほとんどの方が知っていられるということです。それから、トイレを新設する場合、さらに増設する場合の希望場所としましては、マリーンズミュージアム付近がいいということに多くの方がなっております。それからもう一つの項目、内野席側のゲートに入場する際の階段にスロープの設置を希望するかどうかに関しましては、一番多い項目としましては「どちらでもよい」というのが一番多い回答となっております。

来場者アンケート2回目です。「球場のバリアフリーについて」、「対応できていない」41.1%、これは一番多い回答となっております。具体的に、困った事例としましては、デッキに上がるところが「階段しかない」が73.6%となっております。それから強化すべき箇所としましては、「段差」、これが53.8%の方が回答しております。スロープを設置する場合、どこにということでお聞きしたところ、「正面ゲート付近」39.8%、こちらが一番多い回答です。託児サービスについては、ホームゲーム時の実施については、「利用予定はない」40.6%、それから「知っているか・知っていないか」、それに関しては42.1%の方が「知っている」ということで、他の集客イベント、要するに野球以外のとき

のイベントについてどうでしょうかということでお聞きしたところ、「どちらでもよい」という回答が62.9%、それほど多く皆さん望んでないという回答でした。

来場者アンケートの3回目については、「携帯電話・スマートフォンについて」ということで、通信会社ごと、それぞれ確認しましたが、電波状況が悪い時間帯、それから場所等をお聞きしたのですが、これに関しては、大きな差異がないということが結果としてありました。

それから、来場者アンケート4回目の「ビジョン改修について」は、「大変良くなった」が60.9%、メインビジョンの視認性については、「見やすい」85.9%、「見えにくい」の中でどちらかとお聞きした中では、ライト側外野席からの視認性が若干悪いということ、61.8%の方が挙げられております。それから、一塁側サイドビジョンの視認性、「見やすい」が74.4%、3塁側「見やすい」が90.2%、サブビジョンの改修の感想としましては、「大変良くなった」が46.7%、「良くなった」と合わせまして約8割以上の方が良くなったということで感想をいただいております。それから、「以前のほうが良かった」という方が若干いらっしゃいますので、その理由としましては、「白地に黒文字は光って昼間は少し見づらい」、「打者名を表示してほしい」等のご意見がありました。バックネット改修については、これは「変化に気付かなかった」ということが57.7%で一番多い回答となっております。

それから、アンケートにより得られた主な意見としまして、利用者、来場者アンケート両方の中で、要望としましては「夜間照明料金が高いので安くしてほしい」という要望がございました。これに対しましては、回答としまして、「電気代から応分の料金設定となっている。今後、LED化することで電気代の節減ができれば検討可能」、と回答しております。要望としまして、もう一つ、「マリーンズミュージアム付近にトイレを設置してほしい」ということに関しましては、「千葉県と協議し、マリーンズミュージアム付近にトイレを設置」いたしました。これはアンケート結果を反映して進めておったところです。次のページをご覧ください。

市に寄せられた意見、苦情としまして、2件ございます。「スコアボード改修の必要性を感じない」、これに関しては、「現在のスコアボードは設置後13年が経過し、老朽化したため改修の必要がある」ということでご説明しております。「4階コンコースに通路を横切るような金属板があるが、段差があるため危険」。これに関しては、「金属板は構造同士の継ぎ目のカバーである。段差については早急に対策を検討する」ということで、本年度中に指定管理者の修繕により対策を済ませております。

続きまして、「4 指定管理者による自己評価」です。

「当年度については、大型映像装置のリニューアルについて、初の試みとなる千葉市との共同事業により実現できたことは、来場者がこの球場で楽しむことができ、千葉市を代表する市民が誇りを持てる施設へと付加価値を付けることに寄与できたと認識している。

また、文部科学省スポーツ庁からの依頼により「自民党スポーツビジネス小委員会」で指定管理者としての取り組みをプレゼンテーションを行った。このことは、指定管理者制度による公共施設運営について行政と民間企業が共同で取り組んでいる好事例として、今後も各方面から注目され、参考意見を求められる機会が増えるものと考えている。

施設管理及び充実化という点においては、本年も当社独自の投資により来場者の利便性向上のため、飲食店舗や多目的スペースの整備・増設を行う一方、プロ野球を行うための基礎となるグラウンドやスタンドなど各所の地道な保全や美化活動を行っております。

更に、ちば夢チャレンジパスポートを初めとする教育委員会との地域振興に資するコラボ企画やさまざまな野球振興のための招待などを実施し、小中学生およびその保護者の皆

様に球場に来場していただくことで当球場への理解と愛着を深めていただくための活動も行っており、今後も更なる工夫に努めて参ります」、ということです。

以上です。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、只今の事務局のご報告に対しまして、委員の皆様からご意見等ございましたらご発言をお願いいたします。

観音寺委員。

○観音寺委員 2ページ、3ページの「利用者ニーズ・満足度等の把握」というところで、アンケートの詳細いろいろとご記入いただきまして確認させていただきました。その中で、何点か質問ですが、まず2ページの来場者アンケート1回から4回まで、WEBアンケートという形で、弊社もよくWEBアンケート調査を実施しますが、来場者に対してWEBアンケートをやるというのは、どんな手法でやっていらっしゃるのですか。帰ってからパソコンで、このサイトから入力するという案内をするのですか。

○佐藤公園管理課長 そうです。

○観音寺委員 それは、そこの球場に行かないと得られないURLなどを渡すのですか。

○公園管理課職員 千葉ロッテマリーンズのホームページから回答できるようになっております。

○観音寺委員 回答数がどんどん減っていますが、これは何か理由があるのですか。

○公園管理課職員 こちらは基本的に、シーズン終わりに。

○観音寺委員 オフですよ。

○公園管理課職員 はい。オフになるにつれて人数が減ってきてまいりますので、その関係が影響しているのかと思います。

○観音寺委員 2回目、3回目、4回目は、オフだと思うのですが、その減り方も2,000が1,000、700となってしまうので、イベントの集客の状況などにもよるといいますかね。

○公園管理課職員 そうです。

○観音寺委員 それから、もう1点、3ページの来場者アンケート2回目のところですが、「託児サービスについて」ということで、この分析に関してどうかなと少し思うところがあります。オのホームゲーム時の実施で、「利用予定はない」40.6%、「利用したことがある」1.8%、その後、「知っている」、「知らなかった」とあるのですが、合計すると100%になっていて、多分選択肢としてこの4つが並列で選ばせたという気はしますが、聞いている回答の選択肢の事象が違うと思うのです。例えば、「利用予定がない」と「知っている」、「知らない」というのは、全く違う話なので、まず「知っている」のか「知らない」のかということを選択肢2つで聞いて、それからまた、利用予定も「利用したくない」のか、「したくない」のかということを知ることが必要です。分析という部分では、セグメントごとに男女でどうなのか、年齢でどうなのかというところの分析につながっていくと思うので、こうしてしまうと「知っている」が42.1%とありますが、利用したことがある人も当然知っていますし、認知度というのが一体何パーセントなのかということがわからないという気がします。ちなみに、アンケート項目というのは、千葉ロッテさんがつくられているのですか。

○佐藤公園管理課長 そうです。

○観音寺委員 もし可能であれば、分析できる、要はそこからどうするのという分析につなげるためには必要かなと。弊社もよくそういう視点でアンケートをやっているのです、ご参考いただければと思います。

- 佐藤公園管理課長 はい。
 - 石井部会長 今回の点に関連してなのですが、マリーンズのホームページからということは、必ずしも来場していなくても入れてしまうということなのでしょうか。
 - 佐藤公園管理課長 そうです。
 - 石井部会長 来場したかしないかという項目を設けて、来場している人から回答をもらって、それを来場者アンケートにしているということなのでしょうか。
 - 佐藤公園管理課長 来場したかどうかの項目についてはない中で、ファンの方の良識に任せているという部分があるようです。
 - 石井部会長 必ずしも、実際に行った人だけの意見ではないかもしれない、わからないということになってしまうのでしょうか。
 - 佐藤公園管理課長 いえ、ただ、それぞれのテーマを決めての質問項目ですので、やはり行った方でないとは答えられないものがほとんどですので、来場した人間が答えているということがある程度確認できるかということをやっているようです。
 - 石井部会長 この前、私が東京ドームに行ったときに、東京ドームで来場者アンケートをやっていて、そのときは、まず中に行ったときにURLなどを書いたものを配って、そこで携帯電話やスマホから登録をして、登録した人にアンケートがまた送られてきて、それを回答するというをやっていましたので、それだと、基本的に行った人でないとはできないのかなと、いろいろなやり方はあるとは思いますが、より適切な回答が得られるように工夫していただければと、今、私も少し思いました。
 - 佐藤公園管理課長 参考とさせていただきます。
 - 石井部会長 善積委員。
 - 善積委員 同一人が複数回、回答するという可能性もありますか。
 - 公園管理課職員 後日確認させていただきます。
- (確認結果)
- 現状は可能です。本件についてはその他のアンケートに関する課題と併せて検討して参ります。
- 善積委員 それから、よろしいですか。
 - 石井部会長 どうぞ。
 - 善積委員 来場者アンケートの1回目と2回目のところで、スロープのことが出てきますが、1回目だと「どちらでもよい」という回答が多くて、2回目は、階段しかないとか、段差を何とかして欲しいというような、どちらかというところスロープの設置を望むようなアンケート結果が出ているようです。ここのところはどのように判断したらよいのでしょうか。
 - 佐藤公園管理課長 設問の仕方もあったのかと思ひまして、2回目のアンケートを総合的に考えますと、やはり階段で不便ですので、スロープを設置したほうが良いという、そういう解釈、解析になっております。
 - 善積委員 2回目のほうがむしろ利用者の。
 - 佐藤公園管理課長 声だと思われませう。
 - 善積委員 わかりました。ありがとうございます。
- 以上です。
- 石井部会長 はい、どうぞ。
 - 蒔田委員 今回の利用者ニーズの満足度、2ページから始まっているのですが、その元データが資料6-5ですよね。グラフになっているからこのほうが見やすいのですが、資料6-5の7ページの下側、球場のバリアフリーについての一番下側に、下から6行目、ベ

ビーカーの預かりが2階しかないという意見が多数あると、来場者の中に、子供連れでベビーカーを連れてくる人数がどのくらいいるかということはこの表から読み取れなかったのですが、どのくらいいらっしゃるのですか。

託児サービスがあるかないかまで確認できると、子供連れでいらっしゃる人がどの程度いるか、託児サービスがあっても利用の予定はないというのが、男性で大体40.6%ぐらいの人が利用する予定はないという回答なのですが。

○佐藤公園管理課長 アンケートの中では、設問としてとらえてなかったものですから、把握してないというところがあります。

○蒔田委員 そうですか。

ありがとうございます。

○石井部会長 谷藤委員。

○谷藤委員 引き続き来場者アンケートのところなのですが、この4回でテーマが変わって聞いているということで、このテーマに関しては、市から何か要望とか、そういうものを出したりしているのですか。

○佐藤公園管理課長 いえ、やはり一番身近な野球を運営している球団のほうで、利用者にとって何が問題か、そういったものをとらえるために、指定管理者側で考えてやっておるところです。

○谷藤委員 はい、わかりました。

そうすると、想像かもしれないのですが、何となくトイレのこと、バリアフリーのこと、ビジョンのことというのは、今後どのようにするということにつなげるためなのが想像つくのですが、3回目の携帯電話・スマートフォンについてというのは、何につなげるために聞いたのかということところが少しわからなかったのですが、そういう話はされていますか。

○佐藤公園管理課長 こちらは、ああいう建物になると電波障害と言いますか、聞こえづらかったりということがままありますので、球場内に許可をして中継基地と言いますかアンテナを立てております。その関係で、どのくらい効果があって、まだどのくらい問題があるかというのを、それによってはまた増設とか、そういうことにつなげていくということです。

○谷藤委員 積極的にもっと使えるような環境を整える方向の調査ということですか。

○佐藤公園管理課長 そうです。

○谷藤委員 ハード的に整えるということですね。例えば携帯電話・スマートフォンを使って楽しみ方を増やすとか、何かそういう模索まではまだ行ってないのですか。

○佐藤公園管理課長 そうですね。

○谷藤委員 はい、わかりました。

それともう1個いいですか。

○石井部会長 はい、どうぞ。

○谷藤委員 先ほど調査の手法についてあったのですが、厳密に行ったかどうかというところの話もあるのですが、やはりだんだん回答が少なくなってきたシーズン外になってきているということですが、野球以外のイベントの来場者へは聞いてないのですか。その方向はどうなのでしょう。

○公園管理課職員 ホームページで、先ほど回答をいただいているということをお答えさせていただいたのですが、そこはプロ野球の来場者に限っているわけではないので、それ以外の方も答えることは可能にはなっております。分けられてはいないので、データとしては把握ができていないということが現状です。

- 谷藤委員 可能ではあるけれど、なかなかいかないのではないのでしょうか。先ほどの石井部会長の話ですと、行った人がアクセスしていくということであれば、もしそういうたどり着く手法を野球以外のイベントでもすると聞けるかもしれないけれど、現状の方法ですと野球以外の来場者もアクセスはできるけれど、きっとなかなかたどり着かないと思うので、そんなことも考えに入れていく。だんだん野球以外の来場者にも目を向けていく必要があるのかなという気がしました。
- 石井部会長 ありがとうございます。
- 野球以外のイベントというとなんなものがマリフィールドではありますかね。
- 佐藤公園管理課長 音楽のコンサート、それから、あとは冬にマリマラソンなどを行われたりとか、そういったものでございます。
- 石井部会長 そうすると、その時々にあわせて何か配って、ここにアクセスして回答くださいということやると、またプロ野球の利用の方たちとは違う意見も出てくるのかもしれないですね。
- はい、どうぞ。
- 山下公園緑地部長 今回のWEBアンケートをやっているのは、ロッテマリーンズのホームページということで、野球に関することから施設のことが主になってきます。それで、野球以外で各種イベントがあったときは、そのイベント内容は必ず主催者がイベントに対するアンケートは当然取ってきていますので、それと施設に対するアンケートが少しダブる感じになりますので、1本のアンケートということで、その内容を分析して、施設側のアンケートでイベントのアンケートということが分かればいいですが、その辺りを施設に対する来場者のアンケートと1本で取るのか、それからイベントをやったり、主催イベントのところが自分のイベントがどうだったのか、当然、これ必要なもので、常にアンケートを取っているかと思うのですが、そうすると施設に対するアンケートは個別イベントではなかなか取りづらいということがあるので、その辺りの取り方をどうする、ですからWEBというものは今知っているので取りやすいことは取りやすいのですが、個別のイベントのときに、逆に言うと、古いかもしれないですが、アナログでペーパーでという取り方もひとつはあるのかな、そうするとその場で書いてその場で入れていただけますので、その後イベントのアンケートがあれば、それはそれで出していただければいいので、そういうこともひとつ参考にはなってくるかなと、そういう気がしますので、その辺りは少し検討していければと思っています。
- 石井部会長 アンケートに関するご意見は以上でよろしいでしょうか。
- では、他のことでご意見ありましたらお願いいたします。
- では私からなのですが、収入実績のところ、自主事業が予定よりも109.4%ということで、良かった、収入があったということのようなのですが、具体的にはどういったことで予定よりも伸びていたのかということはおわかりになるでしょうか。
- 公園管理課職員 自主事業の収支が結果的に伸びているのですが、こちらはプロ野球の入場者数増に伴って飲食物販の販売が好調だったためということで確認しております。
- 石井部会長 それから、先ほどベビーカー等の預かりという話が出たときに少し思い出したのですが、日ハムの試合のときに、打球が当たって失明したとかということで、裁判になった事例があって判決があって和解で終わったのかな、最近あったかと思うのですが、ああいったことを受けて、何かマリフィールドでも考えることなどは、今聞く話ではないかもしれないですがあるのでしょうか。あれは、施設の不備というよりは普段野球に慣れてない方を招待して、そこで危険性についてアピールしてなかったことが問題だという話だったかと思うのですが、そうすると、ベビーカーなどで来場しやすくするというこ

とは反面そういった危険性を増やすことになってしまうので、預かりのときに何かをきちんと声かけするとか、対策は考えたほうがいいのかとふと思ったので少し今話をしてみました。

はい、お願いします。

○公園管理課職員 特にハード的な対策というものでは講じてはいないのですが、今までどおりビジョンでファールボールに対しての注意喚起ですとか、アナウンス等は行ってきておりますので、それを受けて継続して行っております。

○石井部会長 はい。

○観音寺委員 今の、部会長の最初のほうの話と似ていますが、収支に関して、一番最後の③です、収支実績で約1億5,000万円位計画よりも増えているということで、これの内訳を見るとこれが自主事業による伸びが約1億5,000万円位になっていると思うのですが、これはそのままその金額は千葉ロッテさんの今後のいろいろな自主事業に使っていくということですか。

○佐藤公園管理課長 そうですね。それとあとは利益還元としまして、市もなかなかお金のなかで、修繕ができない部分などを、この利益を使って自主的に修繕していただいているというものがかなりございます。

○観音寺委員 市に還元するというのではなくて、球場の増改修とか、そのような費用などにて還元するということですか。

○佐藤公園管理課長 はい。

○観音寺委員 なるほど、わかりました。

○石井部会長 ありがとうございます。

その他には特にございませんでしょうか。

では、「1 基本情報」から「4 指定管理者による自己評価」については、以上で終わります。

続きまして、4ページの「5 市による評価」について、事務局よりご報告をお願いいたします。

○佐藤公園管理課長 4ページの、「5 市による評価」です。評価としましては「A」、これは3段階の中の真ん中ということで、「概ね仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われていた」との評価になっております。

所見としまして、「昨年度から市と共同で取り組んできたスコアボードの改修については、仕様作成から施行管理に至るまで、一貫した協力体制のもとで実施しており、多くの来場者から高い評価を得ることができた。

サービス向上の取り組みとしては、来場者向けのWEBアンケートの結果を的確に分析し、来場者の要望に応えられるよう努力している。また、球場美化の意識を高く持ち、日常・定期清掃を確実に実施している。

自主事業については、計画を上回る収益を得ており、その経営能力は評価できる。前年に引き続き、千葉県教育委員会主催のちば夢チャレンジパスポートにも積極的に協力しており、地域振興、野球振興に貢献している。

今後も、引き続き管理運営の基準、事業計画書及び提案書に沿った適正な業務の遂行に努め、より来場者の満足度を向上させる取り組みを期待する」、ということになっております。

その履行状況の確認としましては、以下項目について3段階で評価しております。

「2」というのが、「仕様、提案どおりの実績・成果があった」、「3」が、「仕様、提案を上回る実績・成果があった」ということで、ほとんどの項目「2」となっております。

て、平均で「2.3」という値となっております。

その中で、優れているということで、上回る実績、成果が上がったという「3」をつけた項目についてご説明いたします。

まず、上から大きな項目で2番目のモニタリングの考え方、利用者等アンケートを実施したということで、一般利用があった都度実施したほか、プロ野球等来場者向けのWEBアンケートを4回実施している。アンケート結果は、適切に分析し、さらなるサービス向上に生かしている。

それから、下から2番目の大きな項目で、利用者サービスの向上という中で、「大型映像装置の改修」、これに「3」をつけております。これは千葉市との共同事業として、仕様作成から施行管理に至るまで一貫した協力体制で実施したということで「3」の評価とさせていただきます。

一番下の項目、地域振興活動の実施としまして、ちば夢チャレンジパスポート・プロジェクト、これは県内の小学生を対象としたツアーを実施してございまして、10回、約4,280名に対応をしております。

次のページ、5ページで、こちらがプロ野球開催における施設管理能力としまして、「施設・フィールドの維持管理」、これを「3」をつけております。これは、フィールドの維持管理状況は、利用者からも高評価を得ているということで、プロ野球対応の高いレベルのフィールド、施設となっておりますので、高い評価となっております。

それから、清掃についても「3」をつけさせていただいております。美観を損なわないよう、日常定期清掃を確実に実施、来場者へのサービスレベルを維持向上するべく清掃を行っている、ということになっております。

以上です。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、只今の事務局のご報告に対しまして、委員の皆様からのご意見等ございましたらご発言をお願いいたします。

はい、どうぞ。

○蒔田委員 施設管理のところ、どこで見たらいいのかわからないですが、マリンフィールドの立地条件から考えると、海辺に近いので、錆が目立ってくると少しみっともない。塗装なんかは何年に一度やるという約束にはなっているのでしょうか。

管理能力の中に「3」がついているから、清掃も全部行き届いているから問題ないと思うのですが。

○佐藤公園管理課長 施設の修繕関係に関しましては、基本的に公共施設ということで、公共側で直すということがまず基本にございまして、錆に関しては一様に錆るわけではなくて、やはり風向き、風当たりなどによって大きく違いますので、その都度危険性が及ばないような前の段階で見つけて予算化して、市で行っております。

○蒔田委員 市でやる、ありがとうございます。

○石井部会長 その他、どうぞ。

○善積委員 プロ野球開催における施設管理能力のところですが、施設・フィールドの維持管理状況は利用者からも高評価を得ているということですが、これについて今回の資料の中で何か根拠となるところはあるのでしょうか。それから、その下に美観を損なわないよう日常定期清掃を確実に実施したとあります。通常、清掃はそのように行われると思いますが、ここを「2」ではなくて「3」とされている理由として何か具体的なことがあれば、お聞かせいただけないでしょうか。

○谷藤委員 恐らく6-4の52ページでしょうか、問4。

- 佐藤公園管理課長 そうですね、グラウンドの利用者に関しましては、利用者アンケートで、グラウンドコンディションについて「良い」、「大変良い」というのは圧倒的に多いというところで確認させていただいております。
- 公園管理課職員 アンケート結果と、6-4の事業報告書の7ページ、(4)グラウンド等維持管理業務実施状況という報告がありまして、そこでグラウンド等の維持状況が数字で確認できているところでもあります。それを見て「2」の評価ではなく「3」という形でつけさせていただいております。
- 同じく清掃に関しましても、事業報告書の9ページ、清掃業務実施状況ということで、実施予定回数とあるところから実際に実施した回数というものは多く計上されておりますので、通常よりも多くの清掃ができていのかなどということ判断しております。
- 善積委員 ありがとうございます。
- 石井部会長 よろしいでしょうか。
- 善積委員 はい。
- 石井部会長 はい、どうぞ。
- 観音寺委員 履行状況の点数について、逆に、施設・フィールドの上にある自主事業のところを「2」にしているのはなぜでしょうか。計画額を大きく上回る収入を得ているということで、自主事業に関する上ぶれがあると思うのですが、これはなぜ「2」で、「3」ではないのでしょうか。
- 佐藤公園管理課長 これも、点数のつけ方についてはいろいろな見方はあるのですが、金額的に額を大きく上回ったということ、実績・成果が上回ったという評価と同じとは必ずしもとらえてないという部分がございます、内部でも意見が分かれたところがございます。
- 観音寺委員 「※2 履行状況について」の3点の内容、「仕様、提案を上回る実績・成果があった」という基準となっておりますが、本項目は、自主事業を大きく上回る、もちろん収入だけでなく見方があるのでしょうか。評価としては、大きく上回ると書いてあると、何で「2」なのかなという疑問が残ります。
- 石井部会長 要するにどういう点が問題で、3点ではなくて2点になってしまったのでしょうか。
- 佐藤公園管理課長 問題があったということではないのですが、一つは、例えば総合的に考えれば、利用者からの高評価とか、いろいろなものを考える中で、金額は上回りましたが、他に特別に強調できるものがなかったというところで「2」となっております。
- 石井部会長 そうすると、市の評価の中で、計画額を大きく上回る収入を得ているというコメントだけだと、やはり「2」ではなくて「3」ではないのという疑問が出てきてしまうところだとは思いますが、そここのところの説明がつくようにしたほうが適切ではないかと感じるのですがいかがでしょうか。
- 佐藤公園管理課長 参考とさせていただきます。
- 石井部会長 このプロ野球開催における施設管理能力のところ、実際に利用しているプロ野球の選手、ロッテの選手、あるいは他球団の選手からの評価というものは聞いたことはあるのでしょうか。他の球場に比べてこの球場はどうだとか、この点こうしたほうがいいとか、いやここはすばらしいとか、そういったことがあれば、また施設の管理ということでも非常に役立つのかなと思ったのですが。
- 公園管理課職員 データ化したことはないのですが、基本的には、ロッテさんが管理している中で、選手の意見を反映させた形で維持管理を今していると認識しております。また、その他の球団の選手の意見共有、参考として入手できるようであれば、参考として入手し

ていきたいと考えています。

○石井部会長 施設の使い勝手などについては、やはり選手の意見というものを聞くのもいいのかなと少し思いました。

○佐藤公園管理課長 はい。

○石井部会長 その他、委員の皆様よろしいでしょうか。

はい、どうぞ。

○蒔田委員 資料6-4の23ページから、消防設備、空調設備までいろいろな修理をやったという記録があるのですが、低圧地絡発生がものすごく多いですね。したがって、清掃に加えて、電気設備関連の清掃は、これは先ほども言いましたように立地条件からいって、年1回などではなく定期的に清掃していただかないと、しょっちゅうあちこちで漏電が起きてしまう。最悪の場合には漏電火災につながってくる可能性があるんですね。そちらのほうの清掃も少し力を入れたほうがいいのではないのかなと感じました。

○佐藤公園管理課長 はい。

○石井部会長 では、よろしいでしょうか。

谷藤委員どうぞ。

○谷藤委員 点数に対して意見は言わないということではあったのですが、先ほどの2点と3点のところのラインがやはり余りよくわからなくて、計画どおりには全部やっていて、それ以上のことをやったということが、使った人の評価が良かったとかでフィールドの維持管理はなっているのですが、清掃に関しては、聞いてないのかなと思っていたら、WEBアンケート1で、6-5とかで見ると、2ページ、3ページで、周辺のトイレ云々で、何か不衛生とか、暗いとか、臭いとか、ちょこちょこあるのですが、どうでしょうか。

○公園管理課職員 それは、竣工した当時から一度もまだ改修していないトイレが外側にありまして、日常の管理としてはきちんと清掃をやっているのですが、やはり古いという意味でのこういった意見が出てしまっているのかなと思っております。

○谷藤委員 清掃の問題ではなく、ハードの。

○公園管理課職員 そうですね。古くなってしまっていてという意見が多く。

○石井部会長 よろしいでしょうか。

○谷藤委員 はい。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、「5 市による評価」については以上で終わります。

続きまして、「6 都市局指定管理者選定評価委員会の意見」についてですが、次年度以降の管理運営をより適正に行うための意見、助言など、今までのことに加えてありましたらよろしく願いいたします。

はい。

○観音寺委員 利用者のアンケート調査をされていて、マリーンズのホームページからということですが、例えば、この間、私、ロッテ対阪神の試合を見に行くと、阪神側に座ったのですが、千葉市民であって球場に行くと、私などは多分アンケートに当たらないと思うのです。マリーンズのホームページを見ないので、対象には入らないと思います。先ほど部会長からあったように、何か来場者が答えられるような仕組み、現在の手法だと多分大多数がマリーンズのメンバーというか、ファンなのかという気もします。ロッテファンだけが楽しめればいいということでもないのかなという気もするし、いろいろな千葉市民が使うと思いますので、そんな視点も入れながら検討していただきたいです。また聞いた内容を分析した上で、どこまで実施するのか、ハード面は意見が多かったので改修しましたで済むと思うのですが、聞くだけ聞いて終わってしまっても仕方ないという気がしますの

で、ぜひ長い期間でやっていく部分はあると思います。1年ではできないけれど、5年かけて、先ほど言った自主事業の収入だとか、そういうものもあろうかと思imasので、よりよい球場にしていくような形で運営をお願いできればと思います。

○石井部会長 ありがとうございます。

他の委員の皆様いかがでしょうか。

どうぞ、お願いします。

○蒔田委員 このように不特定多数の人が同時に利用するチャンスがものすごく多い、先ほど言いましたように、建築のほうはわからないですが、空調・消防・電気設備のちょっとした故障、このちょっとした故障の内容を見ると、例えば空調はブレーカーをリセットして復旧したというようなことで解決している、それから電気設備では、先ほど言いましたように低圧地絡発生が起きていると、これを放っておくと大事故につながるかもしれないので、設備そのもの、全体的にはいい評価が得られているのですが、基本となる設備の定期点検、これを少し力を入れていただきたいと思います。夜の開催で停電になったらパニックが起きるのです。パニックが起きそうなところというのは、電気設備の中で見ると受電設備とか空調設備、売店の電灯、こういうところの低圧地絡が頻発しているので、清掃点検を少し力を入れていただきたいと思います。

以上です。

○石井部会長 すいません、その点に関連しての質問になってしまうかもしれませんが、以前に比べて今のような不具合が多くなってきた、年々多くなってきているとか、あるいは前と変わらないとか、そういったところはどのようなのでしょうか。施設の年数がたつにつれて何か変わってきたりなどすることはあるのでしょうか。

○佐藤公園管理課長 オープン以来25年経っておりますので、徐々に、特に設備関係が課題になっております。その中で球場全体の大規模修繕に向けて、今年度から調査に入りまして、これは近い将来全体をとということで取り組む予定になっております。

○蒔田委員 そうなると、配線系統は大丈夫だと思いますが、末端についている継電器など、継電器というのは地絡保護のために入っている機械とか、その周りをきれいにするだけで随分違うのです。発生間隔を見ると、かなり短い間隔でいろいろなものが発生しているので、器具を取りかえるだけでも随分違うと思うのですが。

○佐藤公園管理課長 はい。

○蒔田委員 排水系統も漏水が多いのですが、地震の影響など何かで外れたりなどということもありますか。

○佐藤公園管理課長 あると思います。

○石井部会長 以上でよろしいでしょうか。

谷藤委員どうぞ。

○谷藤委員 繰り返しのようななところもあるのですが、利用者の声を年々、本当にたくさん聞くようになっていくなという印象はあるのですが、もっともっと大事にできるのかなということで、プレーする利用者の声ももう少し集めて欲しい。プロの選手ではなくて地元の人がプレーするという人たちの声ですとか、見学ツアーなども増えてきているので、その声ですとか、それから自主事業でたくさん入ったので、たくさん売れたというところですが、最近その辺りもいろいろな球場では何をどう出すとか、相手側の何々を出すとか工夫しているところもあるようなので、そういうことに対する声など、たくさん拾ってあげると、もっと来た人の満足度が高くなるのかなと思います。

最初のときに質問をさせていただいたのですが、ぜひ市と共同でというか、市からこういうことに関しても聞いて欲しいという意見が出せるような連携体制をつくっていただけ

るといいかなと思います。

○石井部会長 ありがとうございます。

よろしいですか。

市による評価にもありますとおり、基本的には、管理運営は適切に行われているものだと思います。基本的なところができているのでさらに良くするためにということで、細かい部分、我々も気になってきているところはあろうかと思います。

それで、利用者の声を聞くというところでのアンケートは非常に重要なものだと思いますので、そのアンケート方法の工夫だとか、内容の工夫だとかについても、市としても任せきりにするのではなくて、関与していった上で進めていただければと思います。

それに加えて、先ほどまでに個別の項目ごとに出た意見も含めて部会の意見とさせていただきます。

最後に資料6-6「指定管理者財務諸表」から見る当該指定管理者の財務状況について、善積委員、何かご質問、ご意見等ありましたらよろしくお願ひいたします。

○善積委員 それでは、6-6のところに決算報告書として26年度と27年度のものがありますが、その数字を見ての感想を述べさせていただきたいと思います。

まず貸借対照表を見ると、財務の安定性というものがわかりますが、前年度から、負債合計額が減少し、負債比率も低下しているということで、若干改善されているのかなと思いました。ただ依然として、負債の割合が高い水準にありますので、今後とも改善が必要だと思います。

次に、損益計算書で業績を見ますと、コストの削減効果により、営業利益が赤字から黒字になっています。経常利益も増加しており、望ましい傾向ですが、最終損益は赤字となっていますので、今後は、まずこの赤字の解消ということが課題になるのではないかと考えます。

以上です。

○石井部会長 ありがとうございます。

以上で、議題（1）「千葉マリスタジアム（QVCマリスタジアム）の年度評価について」を終わります。

続きまして、議題（2）「蘇我スポーツ公園スポーツ施設〔蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）、多目的広場（フクダ電子スクエア）、庭球場（フクダ電子ヒルスコート）、第1多目的グラウンド（フクダ電子フィールド）、第2多目的グラウンド（北）（フクダ電子グラウンド）〕の年度評価について」に入ります。

初めに、資料7-1「平成27年度指定管理者評価シート」、「1 基本情報」から「4 指定管理者による自己評価」について、事務局よりご報告をお願いいたします。

○佐藤公園管理課長 まず、「1 基本情報」です。

施設名は、千葉市蘇我スポーツ公園スポーツ施設となっております。

指定管理者は、MMT共同事業体ということで、3つの事業体が入っております。総合的な管理運営の会社としまして、株式会社千葉マリスタジアム、それから施設管理を主にやっております株式会社日本メックス、それから主に芝生の管理を担当しております株式会社東洋メンテナンスということで、これは今年の3月から、社名が変わりまして東洋グリーンという名前となっております。指定期間は、平成27年4月1日から平成32年3月31日まで。所管課は、都市局公園緑地部公園管理課となっております。

「2 管理運営の実績」です。

（1）主な実施事業としまして、①指定管理事業、これは施設の管理を一般的に行うものです。

②自主事業となっております。この施設の管理というのは、全部で5つの施設がございまして、蘇我球技場というものが、これはプロのサッカーチームジェフも使ったりします観客席のある大きな天然芝の球技場となっております。それから多目的広場、こちらは人工芝を敷いてありますサッカーコート2面分の大きな広場となっております、主にサッカー等で使われておるものです。

それから、庭球場ということで、図面で言いますと一番右上のほうに20面のテニスコートがございまして、それから左下のほうにあります第1多目的グラウンド、こちらは、先般7月1日から今まで土のグラウンドであったものを人工芝のグラウンドに変えまして、これがサッカーコート2面分、主にサッカー等に使われる用途となっております。それから、そのすぐ隣に第2多目的グラウンド（北）というものがございまして、こちらは少年野球を主に使うグラウンドとしまして、今2面分の野球場部分ができております。これら5つの施設の管理ということで指定管理を行っておるところです。

1ページに戻らせていただきまして、②自主事業としまして、まず蘇我球技場、サッカー場のほうなのですが、こちらの飲食・物販業務としまして、売店21店舗、自販機26台等で行っております。その下に、常設看板設置業務ということで、看板広告の販売業務ということで、16枚設置しております。イベントの企画・誘致業務としまして、右側の事業の概要のところには書かれてあるとおり、様々な業務を行っております。それから多目的広場、この図面で言いますと一番中央上にありますフクダ電子スクエアという部分ですが、こちらでもイベントの企画業務、それから平日利用促進事業、それからフットサル事業、それからJEFトレセン事業としまして、こちらプロサッカーチームのジェフが育成部門のコーチによる質の高いトレーニングを提供して、地域スポーツの振興、発展に寄与するものとなっております、対象者は、市内を中心とした小学生、17時から19時の2時間、フィールド2面のうち1面を利用して、残り1面は一般貸し出しを行っているという状況になっております。こちらの利用者としてしましては、920名となっております。

次のページに行きまして、庭球場のほうですが、こちら飲食・物販業務、それからイベントの企画・誘致業務、それから平日割引事業、それからテニススクール事業、それからHills K-Nagatsuka-Tennis Academy、こちらはジュニアを対象とした選手育成のテニススクールの運営業務でして、千葉県出身の長塚京子プロを校長に迎えまして、国内ジュニアのトップ、あるいは国際的に活躍できる選手の育成・強化を行うということで、通年行っておるものです。

それから、図面の第1多目的グラウンド、左下のほうにございまして。こちらでの事業としましては、イベントの企画、誘致業務、それから、その隣に関しましても、イベントの企画・誘致業務ということで、ご覧のような大会を誘致するというところでやっております。続きまして、利用状況です。

利用者数、平成27年度は、これらの施設延べで600,654名となっております、前年度比で105.4%、稼働率は、それぞれの施設ごとに出させていただきます、蘇我球技場、こちらのサッカー場が36.9%、対前年度増減としまして-1.2%。多目的広場、こちらは図面でいいますとフクダ電子スクエアの部分になるのですが、人工芝のサッカー場ですが66.4%、対前年度としまして-1.1%となっております。次に庭球場63.0%、対前年度増減-3.9%。それから第1多目的グラウンド、これは現在2面の人工芝のグラウンドとなっておりますが、この評価時点では、土のグラウンドとなっております、これが39.9%、対前年度増減としまして8.3%の増となっております。その下、第2多目的グラウンド、これが22.3%ということで、これは27年度オープンということで、対前年度はございまして、対目標値に対してどうかといいますと、-12.7%となっております。

続きまして、収支の状況です。

収入実績としまして、指定管理委託料156,538,000円、計画比100%です。利用料金86,985,000円、計画比99.6%、自主事業189,924,000円、計画比265.0%、合計433,447,000円、計画比137.4%。ここで、少し注釈がございまして、自主事業については、大きな数字になっておるのですが、これは計画から変更しまして、飲食・物販等の売り上げを一度指定管理者へ入金し、その内から飲食物販の運営経費、収益を支払う方式としたことによって、計画比と大分変わっておるところです。

次のページに行きまして、支出の実績です。

人件費、決算額114,091,000円、計画比110.8%、事務費・管理費159,641,000円、計画比194.2%、委託費12,310,000円、計画比21.0%、自主事業130,345,000円、計画比232.9%、合計としまして、決算額416,387,000円、計画比138.9%となっております。こちらも大きな数字になっているところがございますが、事務費・管理費につきましては、委託費で計画していた業務の一部を直接実施したということで大きな数字となっております。自主事業に関しては、計画比増については①の収入実績の逆ということでそちらと同様となっております。収支実績としまして、決算額17,060,000円、対計画額増減としまして1,353,000円の増となっております。

指定管理者が行った処分の件数、市への不服申立て、情報公開の状況はご覧のとおりとなっております。

続きまして、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」です。

指定管理者が行ったアンケート調査の結果です。アンケート調査の実施内容としましては、それぞれの施設ごとに行っております。

蘇我球技場のアンケートです。方法としましては、入場者にアンケート用紙を配布して、回答を得ております。第1回から第4回まで行いまして、こちらはそれぞれの大会規模によって件数が大きく異なっておりますが、トータルで1,483件の回答を得ております。主な質問項目としては、属性、来場方法、清掃・美化、売店、駐車場、スタッフの対応ということ聞いております。

次のページに行きまして、多目的広場、こちらはフクダ電子スクエア、人工芝のサッカー場2面のところで行ったアンケートでございます。こちらも、回答者数は388件、先ほどの項目に加えまして、フィールドの状況、それから用具・備品等、それからバリアフリー等について聞いております。

それから、庭球場のアンケートです。こちらも回答者数が368件、主な項目としては先ほどのフクダ電子スクエアと同じ項目となっております。

調査の結果としまして、蘇我球技場に関しましては、回答者は60%が男性ということで、男性が多く、年齢についても40代が30%と一番多い年代となっております。住まいについては、「市外」44%ということで、プロサッカーの試合を見に来られるということで市外の方が多くなっております。来場方法としましては電車41%、自動車46%とほぼ同じ数値となっております。清掃・美化については、「きれい、ややきれい」を含むというものが78%、売店については、店舗数、メニュー、場所についての意見が多いということになっております。駐車場については、出庫時の混雑についての意見が多い。スタッフについては「満足」が74%と高評価を得ております。

続きまして、多目的広場です。こちらは、実際サッカーをやるという方がほとんどの利用者でして、回答者の88%が男性、年代的にはやはり小中学生、高校生ということで、10代が78%と多くなっています。住まいについては、市内64%、目的はサッカー79%。清掃・美化については、「きれい」が76%、スタッフについては、「大変良い、良い」が

76%と高評価を得ております。

庭球場に関しましては、性別については回答者の53%が女性ということで、女性のほうが多くなっております。年齢につきましては、やはり中学生、高校生の団体利用等が多いものですから、10代22%、20代20%と多くなっております。住まいについては、市内54%、来場目的については、一般利用44%、大会参加が40%となっております。清掃・美化については、「きれい、まあまあきれい」が合わせて70%、スタッフについては、「大変良い、まあまあ良い」が62%となっております。

アンケートにより得られた主な意見としまして、「洗面台の水が強い」、これに関しては水压を調整しております。周辺の「公園が苔ですべりやすい」、これに関しては、協議して清掃等の改善を図っております。「売店の数が少ない」、これに関しましては、4店舗増加いたしました。「売店の場所を回していた為わかりづらい」、これは2015年シーズンから固定するよういたしました。それから「売店メニューのマンネリ化」、これに関しては、逐次新メニューを追加しております。「駐車場が出庫時混雑している」ということで、これは主催者と協議しまして、事前精算をすることで混雑緩和に努めております。「フィールド人工芝の劣化」につきましては、部分的な補修と、それから市と指定管理者との協議をさらに行っております。「雨除け、日除け」ということで、こちらのフィールド、外のサッカー、野球利用に関しまして、そのさらに外側等に日影が公園全体に少ないということもございまして、そういったものというご要望に関しては、有料で簡易テントの貸し出しを実施しております。

市に寄せられた意見、苦情等はございませんでした。

次のページ、5ページの「4 指定管理者による自己評価」です。

「法令や管理運営の基準を遵守し、事業計画に基づき指定管理業務を行うとともに、予約システムの変更に伴う準備、利用者への告知等周知を行いトラブル等起こらないように準備した。

自主事業の各イベントや地域活動を通じ地域の市民と積極的に交流し、前管理者から行っている「ひまわりフェスティバル」においては、第10回目となり日程を押えて無い中で調整し、例年通り盛大に開催する事ができた。

利用者のニーズにあった、時間外利用を通年行った。

各種競技団体と調整会議を含め通年利用調整を図り、スムーズな利用運営を行った。

Jリーグ開催時における運営管理については、来場者に不便の無いよう心掛け、アンケート調査を基に改善を図った。

提案事項において、初年度実施できなかった事項につき精査し、2年目により良い管理運営に努めたい」となっております。

「千葉市からの組織体制が不十分であったことによる改善指示書を受け、早急な対応を図り、28年度からは適正な組織体制を確立した」。

以上となっております。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、只今の事務局のご報告に対しまして、委員の皆様ご意見等ありましたらご発言をお願いいたします。

それでは、私から最初に質問させていただきますが、自主事業の方式、収入と支出の経費の支払い方等の方式を変更したと、それで数字が大きく動いている部分があるということでしたが、その方式を変更した理由というのはどういうものなのでしょうか。また、元々のとおりで計画と比べたとしたらどうだったのかということはおわかりいただけますでしょうか。

○公園管理課職員 1点目については、売店事業者さんで開催時の釣り銭ですとか、その辺

りの用意をさせる手間を考えまして、売店業者と指定管理者の間で協議をした中で、指定管理者が釣り銭等も全部用意して、売店業者さんは売買だけをするような形に変更したと伺っております。

2点目の、純然たる売り上げの増加という点については、③収支実績の対計画増減の約1,353,000円が純然たる増加分になるかと思えます。

○石井部会長 ありがとうございます。

善積委員お願いします。

○善積委員 今のところの関連ですが、来年度も、再来年度も評価があるわけですね。そうすると、計画額については、当初の額がそのまま残っていくとすると実績額との差は来年、再来年も生じていくということですか。

○公園管理課職員 事業計画につきましては、1年ごとに指定管理者が提出いたしますので、28年度に關しましては、この自主事業の現状のベースにあわせた形で計画をして提出しております。

○善積委員 来年度は、計画額がもっと大きくなるということですか。

○公園管理課職員 そうです。

○善積委員 先ほど収支実績のところでは、決算額の部分は、計画のときの方式を採用したときの自主事業の数字、それが反映されているような、そういうお話しでしたよね。

○公園管理課職員 はい。

○善積委員 この決算額、Aからaですか、それを引いているわけですね。ということは、Aの自主事業の189,924,000円という数字は、そのまま考慮されているということにならないですか。

○公園管理課職員 先ほどの方式の変更分が、収入も増えますし、支出も増えるような形なので、実際に収支で見たときについては計画時と変わらないようなものになっていますので、収支で見た場合は、計画とはさほど変わらないというのが。

○善積委員 両方増えているからということですか。

○公園管理課職員 そうです。

○善積委員 例えば、自主事業の決算額の189,924,000円を従来の計画どおりの方式で行った場合に、その数字がどのぐらいになるのかという、そういう試算は出ているのですか。

○公園管理課職員 数字としては出しておりません。

○善積委員 出してはいない。

○公園管理課職員 はい。

○善積委員 はい、わかりました。

○石井部会長 はい、お願いします。

○谷藤委員 利用状況で幾つかのところが目標値に少し行かないところがあるのですが、その要因というのはどういう状況が考えられているのでしょうか。特に差が大きいところについてはどう考えられていますか。

○佐藤公園管理課長 この辺りは平日利用なども含んでの計画になっておりますので、やはりその辺りで、計画より利用が少なかった、あるいは天候等で予定が狂ったということが考えられます。

○石井部会長 では、少し私から、また質問なのですが、このフクアリの芝について指定管理者を選定する際に、ジェフからいろいろと意見が出ていたかと思えます。それで事業報告書の6ページに芝のことが若干報告があるわけですが、これは指定管理者側の管理業務の実施状況ということでの報告になっていますが、ジェフから、現時点でどういった意見があがってきているというようなことはおわかりでしょうか。芝についてですが。

- 公園管理課職員 私どもで聞いているところにつきましては、6ページに記載があるのですが、6ページの総評の上から4行目、フィールドが硬いという意見が出ているということで、それに関しては、エアレーションという作業を通じて、なるべく芝のクッション性が高まるような形での作業を増やして対応していると伺っております。
- 石井部会長 それから、選定の際には、ホームグラウンドなのにアドバンテージがないんだというような話もあったかと思いますが、そういったことについて以前よりは変わったのでしょうか。
- 公園管理課職員 なるべくジェフさんの意見を取り入れながら、現状の芝を維持管理できるように指定管理者のほうで取り組んできております。
- 佐藤公園管理課長 結構、アドバンテージというものが微妙なもので、悪いグラウンドで、逆にそれに慣れていて、それがホームのアドバンテージになっていたりなどすることもございまして、昔、ジェフが市原をホームタウンにしていた時に、市原の競技場は芝の状態がかなり悪かったのですが、市原の競技場で不敗神話というものがございまして、ホームでかなり強い実績を上げていた事例がございまして、これが選手にとっての、一般的な良好の芝の状況等と、必ずしも一致しないという部分もございまして。
- 石井部会長 それから、指定管理区域としては、参考資料の図面の赤で囲った部分、あくまでも施設だけということで、その周りの通路だとか、芝生とか植栽がある部分などはほとんどタッチしてないということですよ。
- 公園管理課職員 指定管理区域には入ってはいないのですが、公園を管理している中央・稲毛公園緑地事務所と協議をしながら、清掃や、植栽の管理なども協力して行っております。
- 石井部会長 たまたま私の個人的な経験なのですが、指定管理されている施設とそうでない部分の差が少しあるのかなと、指定管理されているところはきちんときれいになっているのだけれど、少し離れたところは雑草が、刈った時期との差があるのでしょうか、伸びてしまっているとか、ウッドチップのところは傷んでいるとか、そういったところがあるので、その辺りを、指定管理者にお願いしても仕方ないことなのかもしれませんが、市と上手く連携できればいいのかなと、実際あそこに足を運んだときに思ったりもしたのですが。その辺りについて、何か指定管理者から、自分たちはこうしていますよというような報告というものはあがったりしているのでしょうか。この報告書の中のどこかに書いてある。
- 公園管理課職員 この中には、それは余り無いのですが、現状としては、月1回程度、ごみ拾いだとか、植栽の剪定とか、伸びた草刈りなどを行っておりますので、そういったものについては月次の報告の中でご報告はいただいております。
- 石井部会長 指定管理者が今回変わったわけですが、変わったことで何か混乱とか問題とか、そういったことは起きたりはしなかったのでしょうか。
- 佐藤公園管理課長 特に大きな混乱というものはございませんでした。少し若干の行き違いはあったのですが、お互いに話し合って実践しております。
- 石井部会長 はい、観音寺委員お願いします。
- 観音寺委員 4ページにあるアンケートにより得られた主な意見というところで、「売店メニューのマンネリ化」というところがありますが、資料では、逐次新メニューを追加しています、2カ月に一度売店会議を開いて情報の共有と改善に努めている、と記載があります。この辺りは具体的に何かどのような話が出てきていますか。
- 公園管理課職員 指定管理者と売店業者の皆さんで新しいメニューをつくっていきましょうということで、例えば前回、7月10日の試合では、水戸戦だったので、相手チームの納

豆が名物になっていますので、そういったメニュー、夏をテーマにしたメニューを取り入れたりとか。

○観音寺委員 それは実施されたのでしょうか。

○公園管理課職員 そうですね、前回7月10日の試合で実施しております。

○観音寺委員 アンケートの7-4の121ページにアンケート結果の細かい飲食売店についての回答を見ると、千葉らしさを求める声がありました。千葉ロッテマリーンズのロッテの試合に行くと結構そういうものを感じられるメニューが多いという感じがしていて、とてもいいなと思いますので、何かその辺りもうまく取り入れていただければと思います。ぜひよろしく願いいたします。

○石井部会長 委員の皆様、他には特段ございませんでしょうか。

では、「1 基本情報」から「4 指定管理者」による自己評価については、以上で終わります。

続きまして、5ページ、「5 市による評価」について事務局よりご報告をお願いいたします。

○佐藤公園管理課長 市による評価は「A」となっております。これは、3段階の真ん中、「概ね仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われていた」というものです。

所見を読み上げます。

「前指定管理者から引き継ぎを行い1年目という中で大きな混乱もなく、フィールド及び施設の管理や利用者への貸し出し等が行われていたと考えられる。利用者数が前年と比較して3万人弱増加している点や、収支実績が計画比で増加していることから安定した施設管理運営が行われていたと考えられる。また、フクダ電子アリーナコンコースへの来場者向けのテーブル設置や階段を照らすLED照明の設置等、来場者サービスの向上につながる取り組みは評価できる。しかしながら、事務費・管理費の支出が計画から離れている点は改善するよう努めていただきたい。また改善指示書により指摘を行った提案時に予定していた人員配置ができなかった点については平成28年4月から改善が行われた。

利用者アンケートについては、事業計画通り行っているが、アンケート項目等を工夫し、更なる利用者意見の把握に努め、できる限り施設管理に取り入れるよう検討していただきたい。

利用料金について指定管理者の提案による独自の減免規定が設けられているが、利用件数が少ない状況にあり、利用者への案内が不足しているものと推測される。利用料金の減免については、利用者サービスの向上に結びつくものであることから、必要な利用者への適切な周知を行うよう努めていただきたい。

また、提案されている劣化度診断の実施や競技場照明のLED化等の一部の業務で実施に至っていない点については、次年度の実施に努めていただきたい」ということになっております。

履行状況の確認としまして、下記の項目について概ね「2」の評価になっております。2点の評価は、「仕様、提案どおりの実績・成果があった」ということです。

その中で、6ページの一番上の利用者サービスの向上という中で、「コンコース内のテーブル設置・LED照明の設置」という点を評価しまして「3」をつけさせていただいております。逆に、その下、執行体制の中で、「適正な人員配置・勤務体制」について「1」ということで、提案された人員配置が確保できなかったということで「1」とさせていただいております。

それから、下から2番目の支出見積の妥当性という部分で、「事業計画に沿った支出」

という項目について「1」をつけさせていただいております。これが、数字が計画から大きく離れているという部分で、その原因については、先ほど述べさせていただいたような原因がございますが、数字の相違ということでつけさせていただいております。これらを総合しまして、平均が「2.0」ということで評価となっております。先ほどの人員体制、勤務体制が整わなかったということに関しましては、これは提案と違うという部分で是正を強く求めたところですが、それによる大きな支障、混乱は、実際現場では起きていなかったということで、全体は概ね計画通りということで評価させていただいております。

以上です。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、只今の事務局の報告に対しまして、ご意見等がございましたらお願いいたします。

お願いします。

○観音寺委員 事務費・管理費とか、自主事業の計画比増というか、変更した部分があったので、あったけれども増えているのは「1」にしているということが、よくわからないのですが。実態として7-1の2ページ、3ページを見てみると、①の収入も②の支出も同様に増えていますよね。行ってこいで③の収支でトントンというような、先ほど説明があったと思うのですが、そう考えると、実態として、支出がどう増えたかということをも明らかにしないと評価できないと思うのですが、いかがでしょうか。

○佐藤公園管理課長 今後の課題で検討させていただきます。

○石井部会長 今の点について、例えば7-2の事業計画書と7-3、7-4の事業報告書のここを比べるとわかりますよというような部分はないのでしょうか。事業計画書は最初の段階の計画ですから、もともとのものが書いてあって、報告書は終わった後のものですから、実際にやったことが書いてあるので、どこどこを比べたらこうですよということがもしわかるようでしたら教えていただけると助かりますが。

○公園管理課職員 ページ数がとぎれて恐縮なのですが、7-2の添付資料で、平成27年度の収支予算書というものがついておりまして、後ろから6ページ目ぐらい、こちらの収支予算書を評価シートの収支状況の支出の事務費・管理費、委託費、自主事業、そういった内訳にまとめたものがこちらの評価シートの計画額の欄に記載しております。

決算としましては、7-4の50ページ以降に収支決算書の内訳がついておりまして、こちらを同じような形で集計したものが評価シートの決算額の欄に記載してございます。

○佐藤公園管理課長 少し一見してわかるような資料になっておりませんので、こういった場でそれがわかりやすいように説明できるような資料を今後用意したいと思います。

○石井部会長 よろしく申し上げます。

それから、事務費・管理費について、委託費で計画していた業務の一部を直接実施した、そこで計画比増があったんだというご説明でしたが、これもどうして当初委託で計画していたことを直接実施したのか、その理由についてはおわかりになるでしょうか。

○公園管理課職員 細かい理由までは把握してないのですが、主に清掃業務を委託する予定だったものを、共同事業体で直営で実施したことによって増減が起きていると聞いております。理由に関しましては、再度確認しまして、ご報告させていただきます。

(確認結果)

主な業務としては清掃費が挙げられます。当初は業務委託を考えていましたが、前指定管理者の時の職員が継続雇用できることとなり、直営で行った方が効率よく運営できることから直接実施することとしました。

○石井部会長 それから、改善指示書により指摘を行った「提案時に予定していた人員配置

ができなかった」とありましたが、具体的には、どういうことだったのでしょうか。

- 公園管理課職員 そちらに関しましては、副統括責任者の職員という者が、有資格者を配置すると提案書ではなっておりまして、実際に配置された職員が資格を持っていなかったということでございます。そちらに関しまして、適正に提案書どおりに実施してくださいということで改善指示書を出させていただいて、28年4月から有資格者を配置している状況でございます。
- 石井部会長 観音寺委員どうぞ。
- 観音寺委員 7-2の28ページに、モニタリング実施計画というものがあまして、(2)利用者アンケートの実施というものがあって、今回利用者アンケートの実施が「2」という履行状況になっている中で、この(2)の3にある未利用潜在ニーズへのアプローチというものは、非常に重要と見ていたのですが、これはこれからやっていく話ですか。
- 佐藤公園管理課長 そうですね。
- 観音寺委員 実際、どうやって実施していくか何か案はありますか。これは結構大変だとは思いますが。まだ来たことがない人とか、もしかしたら興味ない層など、そういう層を掘り起こすということが非常に重要だと思いますし、やるべきことだと思いますが、どうやって実施していくのか案はありますか。
- 公園管理課職員 現状としては、まだはっきりしたものができ上がっていませんので、これから指定管理者と協議をしながら方法を考えてまとめていくという状況でございます。
- 観音寺委員 なぜ、この質問をしたかという、7-1の5ページの、この評価の中で利用者アンケートの実施が「2」となっていて、先ほどの千葉ロッテさんは「3」だったのですよね。4回実施という回数も同じで、なぜ「2」と「3」が違うのかなというところで、読んでいて、もう少し改善する意欲があるから「2」にしていると思ったのですが、何か「2」にしている理由はありますか。
- 公園管理課職員 基本的に、4回ともほとんど同じような質問項目でありまして、ロッテさんの場合ですと、各回でテーマを変えていろいろな意見を収集しているというところがありますので、その点を評価の中で加味させていただいております。
- 観音寺委員 そうであれば、潜在ニーズの発掘を頑張ってください、「3」と評価できるようにしていただければいいと思います。
- 石井部会長 「市による評価」についてのご意見は以上でよろしいでしょうか。
では、「5 市による評価」については以上で終わります。
続きまして、「6 都市局指定管理者選定評価委員会の意見」についてですが、次年度以降の管理運営をより適正に行うための意見、または助言など、ございますでしょうか。
委員の皆様よろしくお願いたします。
谷藤委員お願いします。
- 谷藤委員 余り具体的ではないかもしれませんが、やはり1年目ということで、計画が大まかだったなという印象がすごくあります。それで、先ほどの人員配置のところも、今年度から変わったという話でしたので、それぞれ大ざっぱな計画を一年終えて改善されていることとは思いますが、計画では漠然とこんなことをするという少し夢というか、そういう感じで書いている、先ほどの利用者アンケートもそうですが、それをより具体化して詰めていって欲しいと要望です。
- 石井部会長 観音寺委員お願いします。
- 観音寺委員 これは質問ですが、7-2の自主事業計画の中のNo. 5、スクール受講料収入が200万円弱で、支出が1,000万円位になっています。これは、いわゆる子供の育成とか、

スポーツを好きになってもらうとか、地域貢献的で、収支は気にしてないということですか。

○公園管理課職員 そうです。その他の売店等の自主事業の利益でまかなっているという計画です。

○観音寺委員 逆に言うと、利用率の向上と目的にあります。利用者が増えるほど赤字になるという事業ということで、それはそれでいいという判断ですか。

○公園管理課職員 はい。

○石井部会長 その他よろしいでしょうか。

「指定管理者による自己評価」にも記載がありますし、また「市による評価」の部分にも記載がありますが、提案事項についてできたものと、それからできていないもの、まだ着手もできていないものもあろうかと思えます。それについて、具体的にどういうことを提案したり、それについてどこまでやった、どこまでできていない、というようなこともわかるようにしていただけないのかなとは思いました。

また、そういう提案をして指定管理者に選ばれていますので、ぜひ2年目以降は積極的に進めていただきたいと思えます。

「6 都市局指定管理者選定評価委員会の意見」ですが、先ほど項目ごとにいただいたご意見も含めて部会の意見といたします。

最後に、資料7-5「指定管理者財務諸表」から見る当該指定管理者の財務状況についてですが、善積委員何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

○善積委員 まず、東洋グリーンという会社ですが、先ほど社名が変わったというようなご説明があったかと思えます。後ろの資料を見てみますと、東洋グリーンという会社は東洋メンテナンス社の親会社であり、27年度末に、東洋メンテナンス社を存続会社、東洋グリーン社を消滅会社とする吸収合併が行われているようです。今後は、東洋グリーン社は消滅して、東洋メンテナンス社が残って東洋グリーンに社名を変更して指定管理を行う一つの会社として存続するという、そういう理解でよろしいですか。

○公園管理課職員 はい。

○善積委員 MMT共同事業体ということで、千葉マリスタジアム社と日本メックス社と東洋メンテナンス社、そして今回、東洋グリーン社の財務諸表も資料として用意されておりますが、それを見ましたところ、財務の状況、業績とも特に問題のある状況ではないと考えます。ただ、千葉マリスタジアム社については、繰越利益剰余金がマイナスになっていて、そこが気になるところです。しかし、今期は、損益計算書を見ますと業績が改善されていることから、今後もこの状況が続けば、この問題は解消される方向に進むのではないかと考えました。

それから、提出されている財務諸表ですが、千葉マリスタジアム社は26年度と27年度のものになっていますが、日本メックス社は25年度と26年度のものになっています。最新のものにそろえていただいたほうがよいと思いました。

○公園管理課職員 今回は、期限の都合で、どうしても株主総会が間に合わなくて、決議が終わってなかったもので、最新のものということで25年度と26年度をつけております。

○善積委員 そうですか。わかりました。

○石井部会長 そうすると次年度以降も同じように1年ずれたものが出てきてしまうということになるのでしょうか。

○公園管理課職員 基本的にはそうですが、どうしても6月末に株主総会がありますので、千葉マリスタジアムについては、若干早かったのが27年分が提出できたのですが、他の2社については間に合わなかったということでございます。

○石井部会長 そうすると、年度評価の時期を若干ずらすということでの対応ということはいかがなのでしょうか。やはり財務資料からしたら、1年以上前のものを見るよりは直前のものを見たほうが適切な評価になるかとは思いますが。

はい。

○都市総務課職員 一応、市としまして全体的な方針として、通常の設定がない年の評価は、私ども7月に開催させていただいております。今回は日程の都合上7月の中旬ということで開催させていただいているところなのですが、委員さんのおっしゃるとおり、本来であれば最新の財務諸表が手に入ればということがありますので、調整させていただいて、できるだけ最新のものをお渡しして見ていただけるように来年度やってみたいと思いますので、検討させていただきたいと思います。

○石井部会長 よろしくお願ひします。

ありがとうございました。

では、善積委員よろしいでしょうか。

○善積委員 はい。

○石井部会長 ありがとうございました。

以上で議題2「蘇我スポーツ公園スポーツ施設〔蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）、多目的広場（フクダ電子スクエア）、庭球場（フクダ電子ヒルスコート）、第1多目的グラウンド（フクダ電子フィールド）、第2多目的グラウンド（北）（フクダ電子グラウンド）〕の年度評価について」を終わります。

本日の議事は全て終了いたしましたので、これをもって、平成28年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を閉会いたします。

事務局にお返しいたします。

○山下公園緑地部長 本日は、長時間にわたり貴重なご審議をいただき誠にありがとうございました。いただきましたご意見等につきましては、今後の施設管理運営につきまして、いただいたご意見を踏まえて、より適正に実施できるように努めて参りたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

委員の皆様には、本日は誠にありがとうございました。